

# 実行の姿勢と責任ある組織

◆◆◆ 後藤学園理事長が年頭あいさつ ◆◆◆  
90周年機に 危機感持った取り組み求める

後藤淳学園理事長（大学学長）は2002年仕事始めの1月7日、年頭のあいさつで「実行する姿勢」と「責任ある組織」実現を強く求めました。学園では午前9時から本部棟5階会議室に職員約50人が集まり、創立90周年の年に向けた後藤理事長の方針を聞きました。また大学では、午後1時からA I Tプラザ3階会議室に幹部教職員約50人が出席し、学長の所信表明に聞き入りました。



愛知工業大学  
愛知工業大学情報電子専門学校  
愛知工業大学名電高校  
愛知工業大学附属中学校

目次:	
講演特集	2
イベント	4
イベント	5
告知板など	6・7
ホープ登場	8

発行所  
名古屋電気学園  
〒464-8540  
名古屋市千種区若水3-2-12  
TEL (052) 721-0201

ことし11月 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えます



学園のあいさつで理事長は、最近の少子・高齢化の流れを取り上げ「こうした状況にあることに対して学園の全教職員は危機感を持ち、こうすべきとかこうしなければならぬ」という“実行する姿勢”を示してほしいと訴えました。

◇理事長の年頭あいさつ要旨◇  
四十一の年頭という大雪で、今年の名古屋は始まりました。昨年は九月十一日のアメリカ同時多発テロで世界が大きく揺れ動き、不況も深刻化してあまりいいことはありませんでした。とはじめ、明るいこともあり、年末の愛子内親王のご誕生を喜ばせ、本学園卒業生のイチロー選手が米大リーグで大活躍し、さらには本大学の施設を使って五年間、研究を続けられた野依良治名大教授がノーベル化学賞の栄誉に輝きました。

学大教授がノーベル化学賞の栄誉に輝きました。野依教授の講演を中心とし、記念事業を展開しようと考えています。昨年は記念事業の一環として、高校の北校舎新築、大学のA I Tプラザ建設、中学の校舎改修などを進めました。今年、少子・高齢化の進むこの厳しい時代に、教職員は「危機感」を持ち、課題の一つひとつの対応をどうするか考え、実行に移していただき、課題一つひとつの対応をどうするか考え、実行に移していただく。そのためには、責任のある組織が必要ですが、技術力低下の昨今、本学園の役割はいよいよ大きくなっています。

シンボルマークで90周年をアピール  
ことし十一月の創立90周年を記念、学園ではシンボルマークⅡ写真Ⅱを制定して内外にアピールしていくことになりました。既に昨年末、シールを学園のバ

スに張ってPRを始めています。ことしいっぱい、学園や各設置校の封筒、教職員の名刺などにシールを添付していく計画です。



シンボルマークのデザインは、工科系の学園を表すデジタル風のパネル九枚を組み合わせ、十文字になっている五枚で学園と四つの設置校を表現しています。色は、学園カラーの濃い紫色（インク指定はパントン269C）を基本に、大きさや使用目的に合わせ、九パターンつくられています。

(Technology Licensing Organization)への対応、学科の再編問題など、学園や大学が幾つかの課題解決と取り組む必要があるとし、これらの課題をスムーズに実現していくために、「責任ある組織」づくりに務める方針を明らかにしました。

# 講演会・講演会・講演会...ラシ

## 原料確保の苦労話披露

### 太田中産連・中部電力会長が愛名会で講演 無公害・安全発電への取り組みも

教育・研究のバックアップや就職情報の提供、施設充実などあらゆる分野で学園を支援している「学校法人名古屋電気学園愛名会」



MC講演する太田会長ら講演会場

(小川修次会長)の講演会が十一月二十七日午後、名古屋市中区錦三の名古屋国際ホテル二階で開かれ、中部電力会長で中部経済連合会長も務める太田宏次氏が「21世紀・日本のエネルギー」と題して話されました。

## 産学官連携の理想像示す

### 文科省 磯谷技術移転推進室長が講演

大学改革活動の一環として十二月七日午後、総合技術研究所二階の視聴覚室で講演会が行われ、文科省学術振興局技術移転推進室の磯谷桂介室長が「大学改革と産学連携―大学の主体的、組織的取組を目指して」と題して話をされました。

産学官の連携はどうかあるべきか、またどんな形で展開されるのが望ましいか、さらにはその成果をどうすれば効果的に社会還元して

「我が国の電力事情」「電気事業の課題」を柱とした講演が始まりました。太田氏は水力、石炭、石油、天然ガス、風力、原子力と進んできた発電の歴史を振り返りながら、電力自由化の現状や太陽光、燃料電池、地熱など新しい発電方法の最新情報も説明。豊富な知識とデータを駆使して現状分析を進めながら、排煙無公害化や原油確保などの苦

「世界のエネギー事情」

## ことし11月 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えます

「我が国の電力事情」「電気事業の課題」を柱とした講演が始まりました。太田氏は水力、石炭、石油、天然ガス、風力、原子力と進んできた発電の歴史を振り返りながら、電力自由化の現状や太陽光、燃料電池、地熱など新しい発電方法の最新情報も説明。豊富な知識とデータを駆使して現状分析を進めながら、排煙無公害化や原油確保などの苦

「我が国の電力事情」「電気事業の課題」を柱とした講演が始まりました。太田氏は水力、石炭、石油、天然ガス、風力、原子力と進んできた発電の歴史を振り返りながら、電力自由化の現状や太陽光、燃料電池、地熱など新しい発電方法の最新情報も説明。豊富な知識とデータを駆使して現状分析を進めながら、排煙無公害化や原油確保などの苦



いけるか―など、磯谷室長は先進国の例を交えながら話を進められました。磯谷室長はさらに、国立大学の法人化など大学改革の方向性を踏まえた上で、新しい時代に向けた産学官連携の構築が必要だとし、

「我が国の電力事情」「電気事業の課題」を柱とした講演が始まりました。太田氏は水力、石炭、石油、天然ガス、風力、原子力と進んできた発電の歴史を振り返りながら、電力自由化の現状や太陽光、燃料電池、地熱など新しい発電方法の最新情報も説明。豊富な知識とデータを駆使して現状分析を進めながら、排煙無公害化や原油確保などの苦

- ①個人の能力が最大限に発揮できる環境の整備
  - ②競争原理に基づく大学等における高度な教育・研究の実施
  - ③研究開発過程における産学官のルールの共有
  - ④先端技術分野における新産業の創出―など六項目を示しました。
- スライドと豊富な資料を使った講演に、後藤淳学長をはじめ約百人が熱心に耳を傾けていました。

医療用機器の開発は患者への優しさ前提  
生田名大大学院教授が講演

電気学会東海支部(支部長・高村秀一名大教授)主



催の学術講演会が十二月十二日、大学十号館二階の大講義室で行われ、約二百五十人の出席者を前に、名大大学院工学研究科の生田幸士教授が「医療用マイクロマシンとメカトロニクス」と題して講演しました。生田教授は、研究のアプローチ方法として①包括的・抜本的な方法②個別的・対症療法的な方法―を挙げ、「私は①の方法をとりますが、どちらがいいというのではなく、どちらを選ぶかが大切です」と、アプローチ姿勢の重要性を指摘しました。この後、患者に優しい医療機器やロボット開発について、スライドを使って話されました。



# 創立89周年を祝い式典

## 学園 永年勤続表彰や物故者法要も

学園の創立八十九周年記念式典が十一月十二日午後、高校・愛名館の二階講堂で



開かれました。後藤淳理事長の式辞に続いて永年勤続者の表彰(六階に表彰者一覽)があり、勤続四十五年の三十四人(一人欠席)に理事長が表彰状と記念品を手渡しました。大学基礎教育センターの柴山茂夫教授が受章者を代表して謝辞を述べた後、理事らと受章者全員が記念撮影して喜びを分かち合いました。この後、名古屋市千種区法王町の日泰寺に会場を移し、本堂での平成十三年度学園物故者法要や墓参が行われました。

# 受験シーズン本番

大学10号館でセンター試験

大学入試センター試験が一月十九、二十日、全国一斉に行われ、本学10号館も会場になりました。写真。受験シーズンは、いよいよ本番入りです。学園関係では大学、専門学校、高校、中学のいずれも、推薦入試関係をほぼ終了。高校は二月六日が一般入試、大学も一月末からの前期日程を皮切りに、三月十五日の後期日程まで一般入試が順次行われることになっています。



ことし11月 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えます

# 3年経過し成果報告会開く

大学 6件のプロジェクト研究

大学の「プロジェクト研究成果報告会」が11月10日、総合技術研究所2階の視聴覚室で開かれました。大学の教員、大学院生それに企業関係の人たち約100人が出席、スライドなどを使った研究発表に聞き入っていました。

「プロジェクト研究」は、平成十年度にスタートした新しい試みで、三年間の時限プロジェクト。応募のあった十六件から六件が選ばれました。単年度に、一件最高三百万円助成されることになっています。スタートから三年経過し、対象となった研究がほぼ終了したことから、初の報告会開催となりました。

報告会では、稲垣慎二副学長のあいさつに続き、大根義男・総合技術研究所長が「環境変化と国土保全」と題して講演。この後、六

件の研究成果が順次発表されました。



# 6コマで大学アピール

## 吹上ホールで産学交流プラザ開く

大学と企業の交流・連携を促進し、技術の高度化や新規産業の創出を図る「産学交流プラザ」が2001年10月24日、二十五

の両日、名古屋千種区吹上二丁目の市中小企業振興

.....

- 出展学科と担当者・テーマ
- 電気工学科(植田明照教授・鳥井昭宏助教授) 「マイクローメカトロニクスと半導体電力変換」
- 電子工学科(飯吉僚助教授) 「高輝度電子銃の開発」
- 応用化学科(中島剛教授・大澤善美助教授) 「フッ素及びCVDによる機能材料の合成」
- 機械工学科(大島貴充教授) 「後流や噴流に発生する渦列」
- 土木工学科(内田臣一助教授) 「矢作川における砂礫移動の減少とそれが生物に与える影響」
- 建築学科(尾形素臣教授) 「高強度鉄筋の溶接接合」

研究テーマは次の通り  
超高温特異環境トランジスタの開発  
基礎研究▽次世代移動通信網IMT2000の高性能化  
基礎技術に関する研究開発▽微構造を制御した高性能機械材料の創製▽画像映像情報  
の立体可視化技術に関する研究  
▽高温風洞高性能化の基礎研究  
▽環境中の合成高分子化合物による由来物質及び環境ホルモン化合物の動態解析

会館(吹上ホール)で開かれました。  
大学からは六コマを出展、パネルや機材などを展示して研究成果をアピールするとともに、総務課が総合案内ブースを設けて大学の内容紹介や施設説明などを行いました。各コマには企業や県など、産学交流を促進する関係部署の人たちが訪れ、担当者の説明を受けていました。



愛工大が出展したコマの一つ

# 高校吹奏楽部が金賞獲得 全日本マーチングフェス



十四回目の全日本マーチングフェスティバルが十一月二十四日、神戸市で開かれ、神戸市で開かれた。規定演技が課せられる「パレードコンテスト」の部で、高校の吹奏楽部（六十五人）が金賞を獲得しました。

中庭の一部が工事で使えず、学校で通し練習が一度も出来なかった不安を抱え



以下は、桐田正章吹奏楽部顧問（高校教諭）の報告です。

ながら、神戸に向かった。四番目に出場した本校は、地区大会での失敗をバネに大きく成長し、練習通りに入場し、「アルナセー」の演奏・演技に入った。基本を忠実に整然と行進、演奏では聴衆をクギ付けにした。「ヘイ・パチュコ」も練習の成果を出し切って明るく陽気なアメリカ音楽を表現、「HEY」の人文字Ⅱ写真Ⅱでは、大きな拍手をいただいた。金賞受賞は、生徒の努力はいままでもなく、ご指

## 大学でライダーズスクール開講

二輪車通学の学生による交通事故を少しでも減らそうと大学は十一月十七日、名東警察署の協力でライダーズスクールを開講しました。大学が警察署と協力、事故防止講習会を開くのは珍しいことだそうです。二輪車通学生や通学希望者ら約三十人が受講。まず教室で名東署交通課の山本和夫警部補と小村祥義巡査部長から安全運転などについて話を聞いた後、事故のメカニズムや予防策などをビデオで勉強。この後、警備室脇の駐車場を使って実



技指導を受けました。五メートル間隔で置かれたカラーコーンをすり抜けるスラローム、前後輪のブレーキを使う制動、さらに幅三メートル、長さ約十メートルの板を脱輪しないで渡るバランス（一本橋）走行など、事故防止テクニクを学びました。

ことし11月 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えます  
導、ご支援していただいたみなさまのお力添えによるものと感謝しています。  
小学生招き大学駅伝  
第二十一回大学駅伝が十一月八日、選手権、オープンコース、学科交流の三部門に約四百二十人が参加して行われました。地域の人も楽しんでもらうため、大畑小の五、六年児童四十七人を招待しました。運動部員の参加を禁止し



仮装したお兄さんに誘導されて走る大畑小児童

身はいろいろで、大畑小児童は大学生に誘導され一キロのコースをリレー形式で走りました。

## 厚生年金会館で 中学校の学校祭

中学校の学校祭が十一月十四日、名古屋市千種区池下町の愛知厚生年金会館大ホールで開かれました。川本文彦校長のあいさつなどに続いて、レシテーション（英語発表）からプロگرامが始まりました。写真。レシテーションのテ



マは「インターネットで学んだこと」。各学年から二組、三、四人のグループが「Stars」 「Net Surfing」など、日ごろの授業だけでなく、練習で鍛えた英語力を披露しました。  
このほか、最近の出来事について思ったことや日ごろ感じていることなどをまとめた弁論発表、ものづくりに学習の一環として夏休み前に製作した「空を飛ぶもの」の発表、修学旅行で沖繩に出かけた三年代表の発表、それに合唱コンクールなどが行われました。最後に、PTAが企画した東城太郎氏のコンサートで「スタンドバイミー」の弾き語りなどを楽しみました。



# もつと広がれ交流の輪

姉妹校・東南大代表団が愛工大を訪問

## 特別講義をこなし旅行も楽しむ

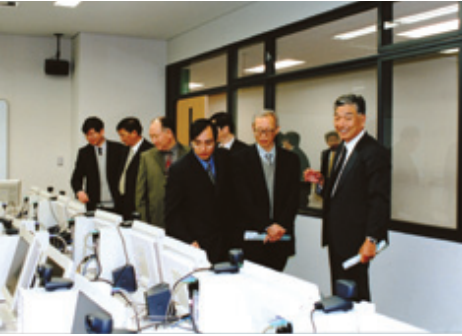
姉妹校・東南大学の代表団（団長・顧冠群学長）が十一月十九日に来日、愛工大との今後の交流計画を打ち合わせたり高校新校舎の見学、愛知県内の工場や施設見学など、多忙な一週間を過ごしました。

一行六人は二十日午前、豊田市の大学キャンパスを訪れ、後藤淳学長らと今後の交流計画などについて話し合った後、名古屋市中心部の高校新校舎を見学。渡辺彪校長らの案内で、コンピュータ室や屋上庭園など

を見て回りました。この後二班に分かれ、名古屋城と産業技術記念館を見学しました。

翌二十一日も二班に分かれ、アサヒビル名古屋工場やトヨタ自動車を見学。顧学長らは小原村の和紙会館で紙すき体験、徐康昭、陸干平両教授は大学の電気工学科と経営情報学科で特別講義をしました。

二十日から二十四日にかけては、東京・仙台の視察と観光旅行。都庁や東京ドームを見学したり、浅草の



④今後の交流計画を話し合う東南大（左）と本学関係者⑤渡辺校長の案内で高校コンピュータ室を見学する一行

ことし11月 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えます

## 3泊4日でバッジに挑戦 中学のスキー学校開く



ムードを楽しんでいました。仙台では青葉城跡、松島などを見て回り、二十四

日午後帰名。名古屋・大須界わいの散策をお土産に、翌日帰国しました。

中学の平成十三年度スキー学校が十二月二十二日から二十五日まで、三泊四日の日程で長野県・志賀高原スキー場を会場に開かれ、一―三年の百三十二人が参加しました。全員、より上級のバッジを目指してしっかり指導を受けたほか、先輩・後輩との交流を通じて自分を磨いていくことの喜びを感じ取ったようです。

スキーは初めてという生徒もいましたが、現地のインストラクター十三人が二日にわたって熱心に実技指

## 6件の助成決まる

### 日東財団や学術振興会

芳君一人が合格するなどレベルの高さを示しました。

導、全員がジュニア検定でブルークターンが出来るイエロー級以上の実力を身につけました。

ジュニア検定の合格者はイエロー五十人、レッド三十二人、ブロンズ十二人、シルバー八人（初心者グリーンは全員クリア）で、最難関のゴールドにも三年生の祖父江友芳君一人が合格するなどレベルの高さを示しました。

(単位はいずれも万円)

助成の種類	氏名	所属	研究テーマなど	金額	
1	研究助成	内田 臣一	土木工学科助教授	河床の状態を水生昆虫によって知る生物指標技術の開発	70
	研究助成	神谷 清仁	建築工学科助教授	建築内装材料の吸放湿性能に関する研究	70
	海外助成	飯吉 僚	電子工学科助教授	電子衝撃局所加熱方式電子銃に関する研究（南アフリカ共和国）	30
	海外助成	津田 紀生	電子工学科講師	紫外線レーザーを用いた液体の絶縁破壊に関する研究（オーストラリア）	30
2	奨励研究A	北川 一敬	機械工学科講師	各種空隙率ポーラス物体への衝撃波及び膨張波の複雑衝突干渉に関する研究	120
3	特別研究員奨励	青木 徹彦	土木工学科教授	多方向地震動を受ける鋼製およびコンクリート充填鋼製橋脚の耐震照査法の開発	100

表彰

◇平成13年度永年勤続表彰者 (所属・職名は9月1日現在)

- 【勤続45年】(1人)
  - (大学) 基礎教育センター教授 柴山 茂夫
- 【勤続35年】(7人)
  - (大学) 工学部電気工学科教授 落合 鎮康
  - 工学部電気工学科教授 一柳 勝宏
  - 経営情報科学部経営情報学科教授 鈴木 達夫
  - 基礎教育センター教授 岡田 静雄
  - 工学部電子工学科講師 北村 隆
  - (高校) 教諭 林 丈光
  - (中学) 事務部事務長 小田 悠祐
- 【勤続25年】(17人)
  - (学園) 総務部人事課長 矢野 敬典
  - (大学) 工学部電気工学科教授 依田 正之
  - 工学部建築学科教授 尾形 素臣
  - 工学部建築工学科教授 大井 孝和
  - 工学部建築工学科教授 曾田 忠宏
  - 工学部建築工学科助教授 神谷 清仁
  - 工学部建築工学科助教授 林 章
  - 経営情報科学部マーケティング情報学科教授 小田 哲久
  - 経営情報科学部経営情報学科助教授 早川 巖
  - 基礎教育センター事務室課長 佐藤 友泰
  - 入試部入試広報課課長補佐(兼務略) 宇田 秀樹
  - 就職部就職課係長 小島 雅子
  - 工学部機械工学科事務室係長 林 葉子

- (高校) 教諭 大鐘 一良
- 教諭 粥川 桂司
- 教諭 杉浦 滋
- 教諭 葉山 尊士

- 【勤続15年】(9人)
  - (学園) 財務部経理課長 岩井 貞二
  - (大学) 工学部情報通信工学科教授 内田 悦行
  - 経営情報科学部経営情報学科教授 佐藤由身子
  - 基礎教育センター教授 柳井 裕道
  - 教学部学生課長(兼務略) 河野 俊
  - 事務局会計課係長 松井 俊浩
  - (高校) 教諭 河島 勝利
  - 教諭 中村 栄一
  - 事務部係長(兼務略) 増田 朗

◇学園表彰者 (表彰式は平成13年12月21日)

- ▽高等学校吹奏楽部 (賞状)
  - 顧問 桐田正章教諭 (賞状と副賞)
  - 部員 65人 (副賞)
- ※平成13年11月23、24日に神戸市・ワールド記念ホールで開かれた第14回全日本マーチングフェスティバルで金賞を受賞。
- ▽高等学校ウエイトリフティング部
  - 電気科3年 山口元気君 (賞状と副賞)
  - ※宮城県で開かれた第56回国体(新世紀・みやぎ国体)の秋季大会ウエイトリフティング競技少年の部で、69<sup>kg</sup>級スナッチ種目に優勝、クリーン&ジャーク種目では4位となり、総合で3位に入りました。

スポーツ情報コーナー

大 学

- ◇フェンシング
  - ◆2001全日本学生フェンシング選手権(11月22~27日・東京駒沢オリンピック公園体育館)
    - 【男子フルール大学対抗】▽2回戦 愛工大 3-2 京産大▽3回戦 愛工大 3-1 拓殖大▽準決勝 愛工大 1-3 中央大▽3位決定戦 愛工大 3-1 日体大
    - ◆全日本フェンシング選手権(12月14~17日・高知商高体育館)
      - 【団体フルール】▽1回戦 愛工大 43-45 大分クラブ
  - ◇卓球
    - ◆第7回名誉会長杯争奪東海学生卓球(12月1~2日・名古屋市千種スポーツセンター)
      - 【男子】▽1回戦 愛工大A 3-0 名学院大C、愛工大B 3-2 愛知大B▽2回戦 愛工大A 3-1 中京大A、愛工大B 3-2 名古屋大A▽3回戦 愛工大A 3-1 南山大A、愛工大B 0-3 中京大B▽準決勝 愛工大A 3-1 中京学院大B▽決勝 愛工大A 3-1 中京学院大A
      - 【女子】
        - ▽2回戦 愛工大 3-0 名学院大▽準決勝 愛工大 3-0 愛大▽決勝 愛工大 2-3 中京大
    - ◇陸上
      - ◆第28回東海学生陸上競技秋季選手権(10月20、21日・名古屋市瑞穂運動公園陸上競技場)
        - ▽5000<sup>m</sup> ②富田泰弘 14分28秒38③桐山幸祐 14分29秒75
        - ▽10000<sup>m</sup> ①両角明彦 30分05秒85③吹田雅人 30分25秒99
        - ▽3000<sup>m</sup>障害 ①桐山幸祐 9分06秒95
      - ◆秩父宮賜杯第33回全日本大学駅伝対校選手権(11月4日・名古屋市熱田神宮前-伊勢市伊勢神宮内宮前、8区106.8<sup>km</sup>)
        - 愛工大(桐山、富田、吹田、滝川、角崎、有馬、松田、両角) 5時間33分10秒
      - ◆第48回中山道東濃駅伝(11月18日・中津川駅前-多治見市役所、7区49.35<sup>km</sup>)
        - ②愛工大A(角崎、富田、大原、桐山、滝川、本島、吹田) 2時間33分25秒
      - ◆第63回東海学生駅伝(12月2日・半田市成岩中前-川崎製鉄グラウンド、7区64.5<sup>km</sup>)
        - ①愛工大(有馬、吹田、滝川、両角、角崎、富田、桐山) 3時間17分47秒=大会新
      - ◆第50回瀬戸地方近郊駅伝(12月9日・瀬戸市民公園発着、5区20.1<sup>km</sup>)
        - ①愛工大(蓮池、桐山、羽根、松田、吹田) 1時間02分46秒

◇スキー

- ◆第47回中部日本学生選手権(1月9-11日・岩岳西山スキー場)
  - 【男子】▽大回転1部①丸山公平 56秒92②長瀬大護 57秒49④坂野良介▽10<sup>kg</sup>クラシカル1部①松平和人 36分47秒8③辻実 38分51秒4▽回転1部①丸山公平 1分25秒02⑤大口潤▽15<sup>kg</sup>フリー1部②辻実 49分14秒1③松平和人 50分32秒2▽距離複合1部②松平和人 1時間27分19秒2③辻実 1時間28分05秒1▽スーパー大回転1部①丸山公平 53秒53②丸山三朋 54秒22▽リレー1部①愛工大(山本雄也、辻実、松平和人、松島寛之) 1時間24分26秒2

高 校

- ◇総合
  - ◆愛知県高校新人体育大会
    - ▽卓球(~11月24日・名古屋市枇杷島スポーツセンター)
      - 【男子学校対抗】②名電高
    - ▽相撲競技(11月3日・瑞穂相撲場)
      - 【団体】①名電高A②名電高C③名電高B
      - 【個人】①手島進吾②井上定政③森下弘康
    - ▽フェンシング(11月4日・瀬戸高校)
      - 男子個人対抗フルール ①林良紀②川地③宇佐見
  - ◇陸上
    - ◆全国高校駅伝愛知県予選(11月4日・知多市名管道路、7区42.195<sup>km</sup>)
      - ③名電高(倉平、川畑、山下、松山、田中、住田、桜井) 2時間12分04秒
    - ◆第48回中山道東濃駅伝
      - ②名電高A(山下、松山、川畑、田中、桜井、倉平、住田) 2時間33分36秒⑤名電高B 2時間39分54秒
    - ◆第50回東海高校駅伝(11月25日・松阪市三重高校前-赤滝バス停往復、7区42.195<sup>km</sup>)
      - ④名電高(倉平、桜井、松山、山下、川畑、田中、細田) 2時間10分47秒
    - ◆第50回瀬戸地方近郊駅伝
      - ①名電高A(倉平、川畑、開田、田中、久野) 1時間02分35秒②名電高C 1時間03分28秒③名電高B 1時間03分45秒
    - ◆第54回渥美半島駅伝(12月16日・伊良湖岬-豊橋技科大前、5区43.8<sup>km</sup>)
      - ④名電高(倉平、開田、田中、川畑、久野) 2時間15分33秒
  - ◇野球
    - ◆第54回秋季東海地区大会(10月27日~11月4日・名古屋市熱田球場など)
      - ▽準決勝 名電 3-4 中京大中京(愛知)
      - ▽2回戦 名電 12-5 三重(三重)
      - ▽1回戦 名電 8-2 益田(岐阜)



告知板

愛工大番組の視聴率5.2%

CBC・TVの報道番組「2002年 東海地震がやってくる? ~地震対策最前線~」が、12月24日午前9時55分から10時20分まで放映されました。学会の研究データや過去の資料などから「2002年に東海地震が起きてもおかしくない」と、視聴者に注意を促すとともに、安全な都市づくりや防災システムの現状などを報告。その中で、材料の耐震性や家屋の免震構造を研究している本学の教授陣、施設などが紹介されました。「はなまるマーケット」に続く時間帯だったこともあり、ビデオ・リサーチ調査による視聴率は5.2%とまずは好調でした。CBCの受信エリアが約422万世帯、一世帯人口を2.94人とすると、約645,000人が番組を見た計算になります。



卒業・入学式の日程決まる

大学、専門学校、高校、中学の平成13年度卒業式、14年度入学式の日程が下表のように決まりました。

	平成13年度卒業式	平成14年度入学式
大 学	3月23日 午前10時・鉦徳館	4月5日 午前10時・鉦徳館
専門学校	3月19日 午前10時・402号	4月9日 午前10時・402号
高 校	3月1日 午前9時・喬徳館	4月6日 午前9時・喬徳館
中 学	3月18日 午前10時・愛名館	4月6日 午前10時・愛名館



長城駅伝に7選手を派遣

2月17日に北京市・平安門広場を発着点に開かれる日中国交正常化30周年記念「日中友好万里の長城駅伝」(6区42.195km)に、愛工大チームが参加することになりました。メンバーは昨年12月2日の第63回東海学生駅伝を大会新記録で制した7人で、有馬武彦、両角明彦、角崎貴史、富田泰弘、吹田雅人、桐山幸祐、滝川真の各選手です。1998年以来、4年ぶり3回目の出場になります。



3月に地元企業交流会

地元企業との関係強化や学生のUターン就職支援などのため、大学が名古屋電気学園愛名会と共催で開いている「A I T地元企業交流会」の平成13年度日程が下表のように決まりました。平成9

地 域	会 場	開催日	参加予定企業
富 山	名鉄トヤマホテル	3月1日(金)	40社・50人
四日市	四日市都ホテル	3月8日(金)	50社・60人
浜 松	浜松名鉄ホテル	3月12日(火)	60社・70人
岐 阜	岐阜キャッスルホテル	3月14日(木)	60社・80人

大学駅伝 簡単コメント集

◇秩父宮賜杯第33回全日本大学駅伝対校選手権大会  
2年連続10回目出場の愛工大(桐山、富田、吹田、滝川、角崎、有馬、松田、両角)は、5時間33分10秒で25チーム中15位でしたが、これまでの最高順位・13位に入った第13回大会(1982年1月17日)の記録を13分8秒も短縮する好走を見せました。



㊦熱田神宮前をスタートする選手たち ㊦両角選手のゴール

区間記録は次の通り

- 1区(14.6km) 桐山 幸祐 46分19秒
- 2区(13.2km) 富田 泰弘 40分50秒
- 3区(9.5km) 吹田 雅人 29分20秒
- 4区(14.0km) 滝川 真 43分17秒
- 5区(11.6km) 角崎 貴史 36分59秒
- 6区(12.3km) 有馬 武彦 37分30秒
- 7区(11.9km) 松田 康成 38分00秒
- 8区(19.7km) 両角 明彦 1時間00分55秒

◇第63回東海学生駅伝競走大会

3位に甘んじていた愛工大(有馬、吹田、滝川、両角、角崎、富田、桐山)が4区で順位を上げ、5区で名商大を抜き去ってそのままゴールイン、優勝タイムは3時間17分47秒の大会新記録でした。愛工大は前年が2位、その前年が3位でした。これまでの大会記録は、第62回大会の名商大 3時間19分05秒。

区間記録は次の通り

- 1区(8.8km) 有馬 武彦 26分46秒
- 2区(6.9km) 吹田 雅人 20分59秒
- 3区(9.2km) 滝川 真 28分40秒
- 4区(12.6km) 両角 明彦 37分45秒
- 5区(7.7km) 角崎 貴史 23分51秒
- 6区(9.5km) 富田 泰弘 29分45秒
- 7区(9.8km) 桐山 幸祐 30分01秒=区間新

◇第50回瀬戸地方近郊駅伝競走大会

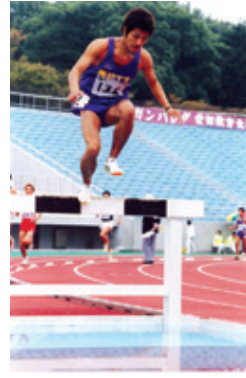
男子1部(一般)では、愛工大A(蓮池、桐山、羽根、松田、吹田)が最終5区で守山自衛隊Aを抜き去り、1時間02分46秒で優勝しました。

区間記録は次の通り

- 1区(4.0km) 蓮池 彰太郎 13分15秒
- 2区(3.7km) 桐山 幸祐 10分55秒=区間賞
- 3区(4.0km) 羽根 拓雄 11分26秒=区間賞
- 4区(4.4km) 松田 康成 15分01秒
- 5区(4.0km) 吹田 雅人 12分09秒=区間賞

# 続々登場 大学のホープさんたちII 三千障害で全日本3位

## 桐山選手 駅伝でも区間賞重なる



◇：駅伝で区間新を出すなど、経営情報科学部経営情報学科二年・桐山幸祐(きりやま・こうすけ)選手(20)の活躍がこのところ目立っています。

最も得意の種目は三千円障害で、昨年九月の第七十回全日本学生陸上(インカレ)で出した8分45秒62は、現在でも全国学生ランク三位の記録です。また十月の第二十八回東海学生陸上秋季選手権では、三千円障害で二連覇を達成(写真II読売新聞提供)、五千円でも二位に入りました。

トラック競技のない冬はトレーニングを兼ね、駅伝に参加しています。昨年十一月の第三十三回全日本大

学駅伝では、一区を走ったものの、調整の失敗に泣きました。しかし、十二月の第六十三回東海学生駅伝では七区・アンカーとして区間新と活躍、第五十回瀬戸

# 中部学生スキー回転で三冠

## 丸山選手 5年連続の総合優勝に花添える



◇：スキーの第四十七回中部日本学生選手権(一月八日・長野県白馬村の岩岳西山スキー場)で、工学部経営工学科四年の丸山公平(まるやま・こうへ

地方近郊駅伝でも二区で区間賞を獲得しました。桐山選手は、東海学生陸上競技連盟の平成十三年度

# 8年ぶりの「プロ」誕生

## 梶原選手 8巡目指名で阪神へ

◇：昨年のドラフト会議で阪神タイガースに指名された工学部経営工学科・梶

男子最優秀賞を受賞したほか、二月の日中友好万里の長城駅伝では愛工大のメンバーに選ばれています。

原和隆(かじはら・かずたか)投手(22)II写真IIは、十二月一日に佐賀県伊万里市の実家で仮契約を済ませました。愛工大生のドラフト指名は、平成五年の善村一仁選手(近鉄↓中日)に次いで八年ぶり。

指名後の記者会見で、梶原投手は「指名されてうれしい。まず体をつくること。150kgを目標に真っ直ぐで押せる投手になり、巨人・松井選手と早く対決したい。ファンの熱い期待に応えられるよう、がんばります」と、喜びをかみしめながら話していました。



# 編集後記

年初から不景気、リストラの大合唱ですが、とにかく明けましておめでとございます。ことしもよろしくお願ひします▼ことし学園は、創立90周年を迎えます。十一月の記念イベントは、不景気風を吹き飛ばす明るい内容にしたいものです▼後藤理事長の年頭あいさつにもありましたが、少子化の流れは学園にとって深刻です。社会のニーズをいかに早くしかも確実にとらえ、教育現場にどう反映させていくのか▼中学から大学までを擁する学園としては、受け皿はすでに整っているわけですから、本当の意味で中身の勝負になります▼実行せねばならないこと、逆にしてはならないこと。この二つの見極めが何をにおいても重要です▼発想の転換、そこから生まれるチエ。そして、計画実現を確実なものにするには組織がしっかり機能しなければなりません▼あのダイエーが、なぜ二兆円もの負債を抱えて行き詰まったのか。組織は機能したのか、チエは出したのか。他山の石とすべきでしょう(柳)

ことし11月

おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えます